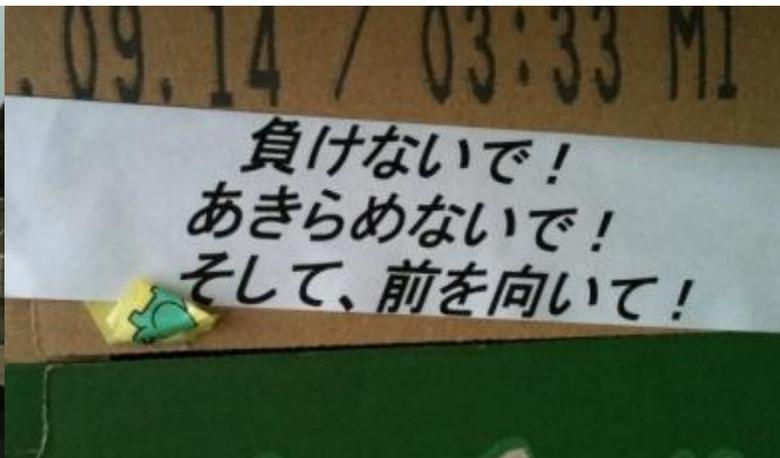


全国スエヒロ会 presents
岩手県 山田町
牛丼炊き出し・エコテーブル贈呈

【実施：2011年6月10日（金）】





- ◆実施日 6月10日(金) PM0:00~PM1:00
- ◆実施場所 岩手県山田町 「陸中海岸青少年の家」
- ◆住民 約150名中 (半数は年配の男女や施設の関係者、半数は日中、瓦礫撤収作業をする職員)

◆提供数 約150人前

◆メニュー ①全国スエヒロ会提供 牛丼 ②中華スープ ③デザート

◆概要

6月4・5日にSHIBUYA-AXで行われたイベントで使用したエコプライ製のテーブルをテレビ岩手の協力の元、贈呈式を実施。NVEスタッフが5月に石巻市で炊き出しを行った実績や長年、逗子海岸における海の家での店舗活動を生かし、“いま、わたしたちに出来ること”をテーマとして、岩手県山田町で全国スエヒロ会の協力を得て、炊き出しを行いました。



贈呈式はテレビ岩手タワのニュース番組「プラス1」で放映。炊き出しの様子も取り上げられ、皆さんおいしそうに召し上がっていました。



スエヒロ会に提供して頂いたことがわかるように配膳。「お肉がしっかりしているから、牛丼がオイシイ！」との声もありました。

■ 食事中の様子 ■



■ 花巻市街の様子 ■



【実施総括】

震災から三ヶ月が経った岩手県・花巻市周辺を訪問。普段、宿泊施設として利用している青少年の家には、住民として住まわれている方、学校として利用している小学生・教員・関係者の方々など様々な状況の方が被災していました。花巻市の印象としては地盤沈下による冠水や道路の隆起が宮城県・石巻市と比べて少ないため、瓦礫の撤去などの復興が進んでいる様子で、地域住民は日々の生活の作業や、瓦礫の撤去作業などが中心でまだ賃金が発生する労働はまだ行われおらず、娯楽も少ないように感じました。

震災があった11日という日は毎月、特別に牛丼を提供していた為、今回の炊き出しのメニューと偶然重なり、施設の方や住民の方々に非常に喜ばれました。さらに普段、店舗で使われている牛肉と知ると、滅多に食べる機会が無いので、より沢山召し上がる方もいました。

今後、地域住民の自立社会復帰を促すため、食料の支給が終わろうとしています。政府の対応が支援から試練へと変わり、地域の方の手による本当の復興はこれから始まろうとする中、このターニングポイントで支援が出来たことは、地域の方々にも思い出深く、印象に残る炊き出しと贈呈になったと実感しました。